

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市燕沢児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 19,624人 (前年度比 75.6%) 平成30年度 25,952人 平成29年度 23,055人 平成28年度 21,469人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 35,446千円 (33,103 千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館地域連絡会、児童裏部保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	児童クラブにおいては、学年ごとに担当職員を決めて児童との信頼関係を深め、児童の様子を詳細に把握することで個々に応じた細やかな支援を行っている。サテライト室が入る高齢者施設とは、日常的な交流に留まらず、ダンスクラブの発表や施設の行事への出店、幼児クラブの親子の散歩コースに設定するなど、積極的な交流を図った。また、地域の中学校や高校と部活等を通じた交流の場を継続的に持つなど、地域の世代間の交流を広げる工夫をしている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》

当児童館の一番の特色は、地域の皆様の子供たちを温かく見守ってくださる姿勢に支えられているということです。学校、町内会、各種団体等、たくさんの皆様にご理解・ご協力をいただき、当児童館は運営されています。「子供たちに豊かな経験を。」とのキャッチフレーズのもと、「デイキャンプ」「野菜作り」「座禅体験」「学区民祭り」「俺たちの祭り」「パルシア交流会」等、たくさんの行事が地域ボランティアの方々やお寺・町内会・老人福祉施設・地元団体の皆様の協力によって開催されています。初めて間近に花火の炎を見たとか、高齢者と話ができたとか、行事が終わるたびに子どもたちの歓声が聞こえてきます。燕沢小学校のミニたんぼぼによる「読み聞かせ」、西山中学校による「吹奏楽演奏会」、仙台三高による「科学教室」等、学校とも連携して子供たちの興味ある内容の活動を行っています。それらの行事は児童クラブに登録されている子供たちだけではなく地域の子供たちにも開放し、誰でも自由に参加できる行事として実施することで、好評を得ています。

燕沢児童館の一番の強みは、保護者の皆様との距離が近いということです。お迎えで来館した保護者の方と直接お話ししたり、電話でお話ししたりしながら、常にお子さんのことを話題にして、一緒に子育てについて考えることができている。また、児童クラブの保護者の方だけでなく、乳幼児親子の来館者の方とも信頼関係を作るため、どなたが来館しても職員皆でお迎えし、お見送りする心がけで対応しています。

当児童館最大のイベント「児童館まつり」は、地域の学校や体育振興会・文化振興会をはじめたくさんの団体の皆様のご協力を得ながら、地域の方々も参加して毎年盛大に行われておりましたが、今年度は台風により残念ながら中止となりました。来年度は予備日も設定しておりますので、必ず開催して子供たちの期待に応えてまいります。

《施設設置者（仙台市）による評価》

小学生対象事業として、「野菜クラブ」、「卓球クラブ」、「はたおろクラブ」、「囲碁将棋」などのクラブ活動のほか、「キッズベースボール」、「オセロ大会」、「大工さんに挑戦」など地域ボランティア講師による行事が多数あり充実している。また、地域での経験を豊かにしようと、おやじの会や青年会と連携してデイキャンプやおまつりを開催しているほか、地域の特性を生かした活動として実施している善應寺での古墳探検や座禅体験は、保護者が児童と一緒に地域の歴史を学ぶ良い機会となっている。

児童自身が地域の一員であることを自覚し、豊かな体験活動を通して社会性や豊かな人間性を育むことができるよう、地域の関係機関や諸団体による充実した協力体制のもと児童館運営を行っている点が評価できる。

地域の読み聞かせボランティア「おはなしたんぼぼ」に高学年児童が参加し、児童館で低学年児童に向けて読み聞かせを行うなど、異年齢交流の取り組みも積極的にを行い、主体性や協調性を育んでいる。

子育て家庭支援事業においては、利用者の多い年齢に合わせて、0歳児の登録制幼児クラブや1歳から未就園児までの幼児クラブを実施するなど、利用者同士の交流がより深まるような工夫が取り入れられている。子育て世代が中心となって行われている子育て支援クラブの活動を支援し、子育て世代のニーズを取り入れた交流の場の提供や行事を共催するなど、多様な取り組みにより地域の子育て支援拠点としての役割を担っている。

総合評価

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課